令和7年度グリーンボンド インパクトレポート

兵庫県 Hyogo Prefecture
お問い合わせ　兵庫県財務部財政課資金財産班
Tel (078)362-9050　E-mail shikinzaisan@pref.hyogo.lg.jp

令和8年10月

HYOGO VISION ～2050年の兵庫の姿～

本県の目指す姿とSDGs

- 平成7（1995）年1月17日に本県南部を襲った阪神・淡路大震災は、多数の人命とともに、インフラに壊滅的な打撃を与えました。本県は、単に震災前の状態に戻すのではなく、21世紀の成熟社会に相応しい「創造的復興」を推進し、現在の基盤を構築しました。復興の財政負担は今もなお残るものの、不断の財政改革により平成30（2018）年度には収支均衡を達成しています。
- しかし、足許では社会が大きく変化し、コロナ禍でも様々な課題が浮き彫りとなった中で、兵庫のめざす姿を指し示す新しいビジョンが求められていると考え、次の世代が活躍する未来の本県の姿を描く「ひょうごビジョン2050」を令和4（2022）年3月に策定しました。
- ビジョンでは、「誰もが希望を持って生きられる、一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」を 2050年の兵庫がめざす姿と位置づけ、「誰一人取り残さない」という国連の掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の理念も目指す社会像に取り入れながら、取組を推進することとしています。
- ビジョンの策定に合わせて、令和4（2022）年3月には「兵庫県地球温暖化対策推進計画」を改定し、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」をゴールとして、気候変動が与える農林水産業、災害、生態系などの様々な分野における影響を踏まえた環境適応策を総合的かつ計画的に推進しています。
- こうした取組の一環として、グリーン化を推進する本県の施策を広くPRし、一層の機運醸成や施策の推進を図るとともに、県債の購入を通じた投資家の皆様の県政への参画を推進するため、2022年度にSDGs債（グリーンボンド）の発行を開始しました。

平成7（1995）年～　阪神・淡路大震災からの創造的復興

↓

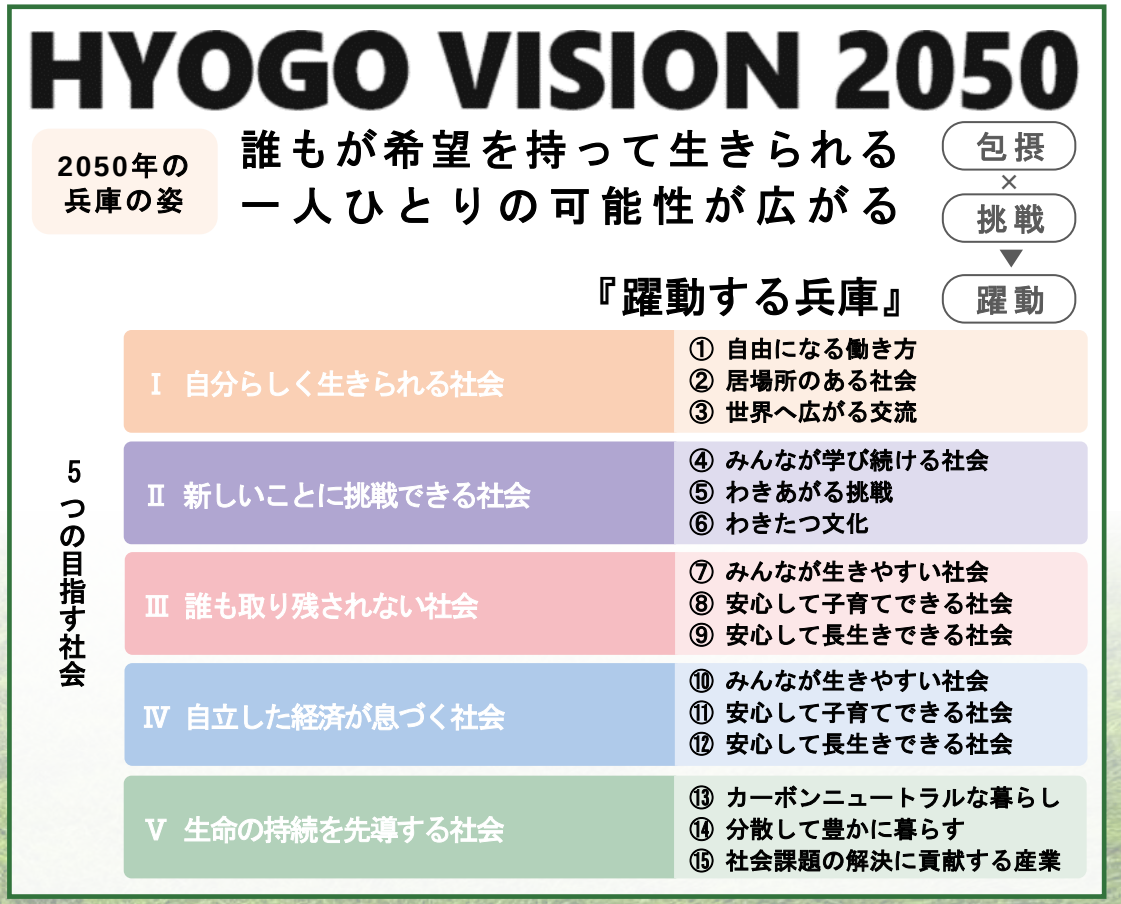
復興の財政負担に対する不断の財政改革

↓

平成30（2018）年度　財政収支均衡の達成

↓

令和4（2022）年3月　HYOGO VISION 2050 策定



本県のSDGs達成に向けた取り組み

兵庫県SDGs推進本部による全庁的なSDGsの推進

- 令和4（2022）年3月のHYOGO VISION 2050策定後、「躍動する兵庫」の実現に向け、SDGsの視点を県政に取り入れ、部局間の緊密な連携により総合的かつ効果的に推進することで、SDGs先進県として兵庫のブランド力を高めるべく、同年5月9日、知事を本部長とする「兵庫県SDGs推進本部」を設置しました。
- オール兵庫でSDGsを推進する中で、様々な成果が上がりつつあります。

SDGs未来都市／自治体SDGsモデル事業

- SDGs未来都市とは、SDGsの理念に沿った取組を推進することで、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するものです。
- また内閣府は、SDGs未来都市が実施する事業の中でも特に先導的な取組で、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域の自律的好循環が見込める事業を「自治体SDGsモデル事業」として選定しています。
- 本県は、令和5年度に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定され、以下のSDGs施策を推進しています。

本県の提案概要

SDGs未来都市

「公民連携により 未来へつなぐ 持続可能な兵庫」

兵庫の個性を活かして、企業、団体、県民とともにオール兵庫で持続可能な兵庫を未来へつなぐ
経済 新たな価値を生む経済
社会 住民自ら創る、住み続けられる地域
環境 未来へつなぐ環境優先社会

自治体SDGsモデル事業

SDGsを体現する「ひょうごフィールドパビリオン」を核をした
地域価値創造、交流人口創出プロジェクト ~ Our Fierld , Our SDGs ~

2025年「大阪・関西万博」を契機に、兵庫全体をパビリオンに見立て、地域の主体的な活動の現場に国内外から多くの人を誘い、兵庫ならではのSDGsの取組を見て、学び、体験してもらう「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開

本県グリーンボンド

- 令和4年度に本県初となる法人投資家向けグリーンボンドを発行し、5年度以降も継続発行することで、グリーン化事業を推進しています。
- 当県では「兵庫県単独発行」に加え、他自治体との共同発行方式のグリーンボンド（グリーン共同債）に参画しています。
- また、県内市町と共同で、個人向けの「ひょうごグリーン県民債」を発行しています。

— グリーン共同発行債・グリーン県民債は、いずれも国内初の取組み

対象	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降
法人投資家	兵庫県グリーンボンド（県単独発行）	継続発行	
法人投資家		グリーン共同発行債（他自治体との共同発行）	継続発行
個人投資家		ひょうごグリーン県民債（県内市町との共同発行）	継続発行

- 本県ならびに県内市町で共同発行するグリーンボンド
- 本県が取り纏めとなり、市町のグリーンボンド特有の発行事務負担を軽減しつつ、グリーン化事業の一層の推進を図るもの
- R7年度は本県を含む11団体（右図）がグリーンボンドで調達した資金でグリーン化事業を推進



令和７年度本県グリーンボンドの起債実績

本県グリーンボンドの発行概要

- 令和7年度に本県が発行したグリーンボンドの発行概要は以下の通りです。
  - 本県グリーンボンド（兵庫県グリーンボンド・ひょうごグリーン県民債・グリーン共同発行債）で計284.8億円（うち14.8億円は市町発行分）の資金を調達しました。
  - 「兵庫県グリーンボンド」では、5年・10年年債の2年限を起債しました。起債時点において、延べ103件の投資表明をいただきました。
  - 「ひょうごグリーン県民債」では、県内を中心に619件の投資家にご賛同をいただきました。

	兵庫県グリーンボンド（法人向け債）		ひょうごグリーン県民債（市町共同発行・個人向け債）	グリーン共同発行債（道府県共同発行・法人向け債）	
名称	兵庫県令和7年度第3回公募公債（グリーンボンド・5年）	兵庫県令和7年度第4回公募公債（グリーンボンド・10年）	令和7年度兵庫県市町共同公募債	第6回グリーン共同発行市場公募地方債	第7回グリーン共同発行市場公募地方債
発行金額	150億円	100億円	20億円（県発行分：14.8億円）	394億円（本県発行分：10億円）	405億円（本県発行分：10億円）
表面利率	1.144%	1.810%	1.206%	2.043%	2.341%
スプレッド	JGB+13.5bp	JGB+12.0bp	JGB+13.5bp	JGB+13.5bp	JGB+14.0bp
発行価格	100円			100円	
条件決定日	令和 7年7月4日	令和 7年11月12日	令和 7年7月8日	令和 7年12月12日	令和 8年3月13日
発行日	令和 7年7月16日	令和 7年11月21日	令和 7年8月21日	令和 7年12月25日	令和 8年3月31日
償還日	令和12年7月16日	令和17年11月21日	令和12年8月21日	令和17年12月25日	令和18年3月25日
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所			株式会社格付投資情報センター / 株式会社日本格付研究所	

◆ 兵庫県グリーンボンド・ひょうごグリーン県民債の発行情報 https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk21/pa03_000000022.html
◆ グリーン共同債の発行情報 https://www.chihousai.or.jp/03/01_12.html

グリーンボンド・フレームワークについて

本県グリーンボンドのフレームワーク及び第三者評価について





- 本県は、グリーンボンドの発行に際し、資金使途などを明記した発行の枠組み（グリーンボンド・フレームワーク）を策定しています。
- 2023年（令和5年）7月には、「兵庫県グリーンボンド・フレームワーク」から「兵庫県・兵庫県市町共同（県民債）グリーンボンド・フレームワーク」に変更し、発行者に本県市町を追加することで、共同債としてのグリーンボンドの発行も可能となりました。
- また、2025年（令和7年）4月に同フレームワークを改訂し、農林水産関係事業を調達資金の使途に追加。第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン　2024年版への適合性について、最上位である「Green1(F)」の評価を受けています。

※ 第6回・第7回グリーン共同発行市場公募地方債（本県発行分）については、「グリーン共同債フレームワーク」に基づいて発行しており、充当事業や環境改善効果の内容については地方債協会のホームページ(https://www.chihousai.or.jp/03/01_12.html)をご確認下さい

1　調達資金の使途（一部抜粋）

□ 汚染防止及び抑制、再生可能エネルギー
- 下水汚泥広域処理場の整備(バイオガスの生成・下水汚泥の固形燃料化)

□ エネルギー効率、再生可能エネルギー
- 県有施設等における照明のLED化、空調設備の更新、太陽光発電設備の導入

□ 気候変動への適応
- 河川改修、治水対策、治山・砂防・土砂・法面防災・ため池防災・高潮対策
- 気候変動に伴う熱中症リスク・農林水産分野での対策、農業生産基盤の整備

□ 生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理
- 森林・林道整備、環境創造型農業の推進、漁業関連施設・河川環境の整備

□ 陸上及び水生生物の多様性の保全
- コウノトリの生息環境整備

2　対象事業の評価・選定プロセス

- グリーンボンドの適格プロジェクトは、財務部が候補を選定し、関係各部との協議を経て最終決定
- 各プロジェクトの適格性の評価は、潜在的にネガティブな環境面等の影響に配慮

3　調達資金の管理

- 調達した年度中に適格プロジェクトに全額充当。万一、未充当資金が発生した場合には、現金又は現金同等物にて管理
- 個別の適格プロジェクトへの充当については、関係各部と連携の上、財務部が県債管理表を作成の上、会計制度に基づき歳入予算の経理区分で分類し、発行超過が起こらないよう、適切に管理
- 会計年度の終了時、決算関係書類が作成され、県の監査・県議会の承認を受ける

4　レポーティング

- 資金充当状況レポーティングおよびインパクト・レポーティングを、本県ウェブサイト等にて年次で開示

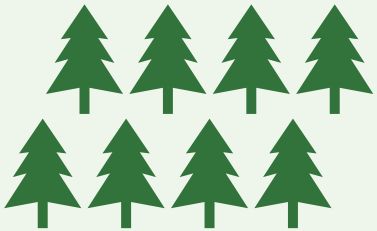
令和７年度本県グリーンボンドの環境改善効果のイメージ

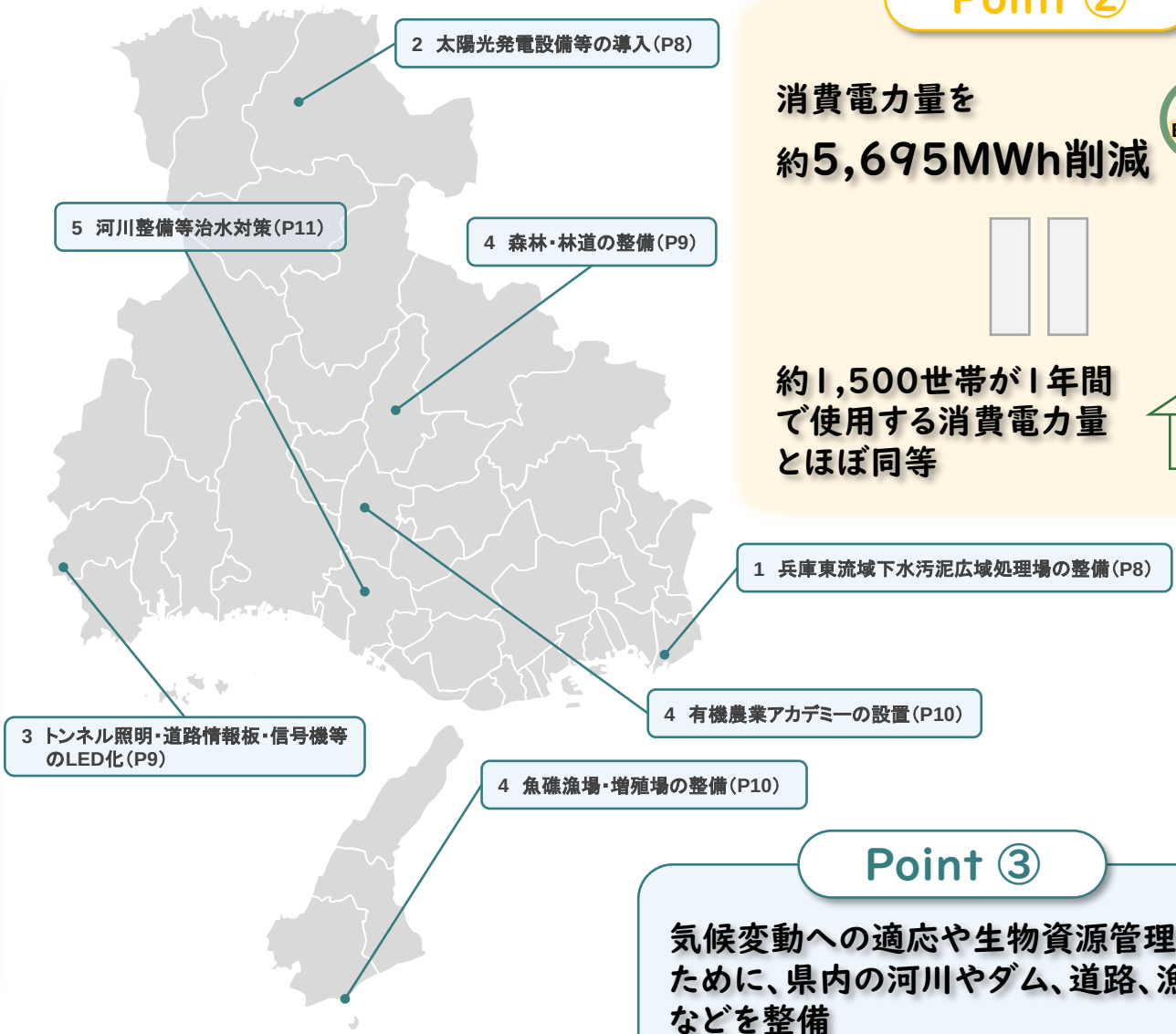
Point ①

CO_2排出量を
約2,627t分削減



甲子園球場 約31個分の
森林が1年間で吸収する
CO_2量とほぼ同等





Point ②

消費電力量を
約5,695MWh削減



約1,500世帯が1年間で使用する消費電力量とほぼ同等



Point ③

気候変動への適応や生物資源管理のために、県内の河川やダム、道路、漁場などを整備

令和７年度 グリーンボンド（県分）の充当事業及び環境改善効果①

- 令和7年度に本県がグリーンボンドで調達した資金284.8億円については、年度内に「兵庫県・兵庫県市町共同（県民債）グリーンボンド・フレームワーク」ならびに「グリーン共同発行市場公募地方債フレームワーク」に定める以下の適格事業に全額を充当しました。

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （百万円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	汚染防止及び抑制 再生可能エネルギー		下水汚泥広域処理場の整備	1,000.0	兵庫東流域下水汚泥広域処理場 （尼崎市、西宮市、芦屋市） ※令和9年完成予定	【計画値】 ● 年間ﾊﾞｲｵｶﾞｽの生成量：約800万Nm^3 ● 年間固形燃料化量：約9,900t ● 年間廃棄物削減量：約5,000t （焼却灰埋立処分量の低減）
2	再生可能エネルギー エネルギー効率		太陽光発電設備、空調機器や LED照明の導入	96.9	県立但馬地域新設特別支援学校（仮称）（豊岡市内） 県立いなみ野特別支援学校（稲美町内） 県立かこがわ清流特別支援学校（加古川市内） 県立東はりま特別支援学校（播磨町内） 太陽光発電設備：1箇所 LEDの導入灯数：970灯 空調設備の導入数：52台	● 太陽光発電設備の導入による 年間のCO_2排出削減量：約4.8t ● LEDの導入による年間の消費電力削減量： 約23MWh ● 空調機器の導入による年間の消費電力 削減量：約80MWh
3	エネルギー効率		トンネル照明・道路情報板の LED化	416.5	【トンネル】 石原坂トンネル（西脇市）・船坂トンネル（赤穂郡上郡） など 【道路情報板】 国道179号、宝塚唐櫃線　ほか10箇所 LEDの導入灯数：187灯	● 【トンネル】LEDの導入による 年間の消費電力削減量：約71MWh ● 【道路情報板】LEDの導入による 年間の消費電力削減量：約230MWh
			信号機のLED化	1,468.7	森本交差点（西脇市）、上余部西交差点（姫路市）など LED信号機の導入数：6,063灯	● 年間の消費電力削減量：約3,187MWh
4	生物自然資源及び 土地利用に係る環境持 続型管理		土砂災害防止や温室効果ガス の吸収に資する森林整備	446.4	神河町大山城山、養父市大屋町横行中山、 宍粟市一宮町公文坂ノ谷など、県内全域	● 森林整備面積：2,052.32ha ● 作業道延長距離：202,452m
			森林整備に資するための林道 整備	584.7	千ヶ峰・三国岳線、能栖線、須留ヶ峰線、 瀞川・氷ノ山線など	● 林道整備距離：1,179m
			県立農業大学校への有機農業 アカデミーの設置	189.2	教育棟、農機格納庫兼作業場、危険物保管庫、 土づくり資材保管庫、実習ほ場の整備（露地ほ場 約200㎡ 10区画、ビニールハウス 約250㎡ 10棟）	● 2026年4月に開講。第1期生が「経営として成 り立つ有機農業」を体系的に学ぶコースを新た に設置

令和７年度 グリーンボンド（県分）の充当事業及び環境改善効果②

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （百万円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
4	生物自然資源及び 土地利用に係る環境持続型管理		魚礁漁場の整備	96.9	播磨北淡漁場、釜屋漁場、家島第3地区	● 漁場造成面積：6.64ha ● 漁礁の整備量：4,797.5空m3 ● 増殖場造成面積：5.21ha ● 増大が期待される魚介類：マダイ、スズキ、アジ、カレイ類、メバル、カサゴ等
			増殖場の整備	226.6	家島南漁場、三尾、五色、紀伊沼島漁場、洲本漁場	
5	気候変動への適応		農業用排水路及び排水機場の整備	270.2	南あわじ市阿万塩屋町	● 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害が防止される地域数：1町
			河川整備等治水対策	12,295.1	草谷川、明石川、津門川、武庫川、黒井川、竹田川、新川・東川排水機場など	● 〃：41市町
			砂防施設の改良等	6,686.3	美方郡香美町香住区隼人、神河町 大山上谷川、佐用町 下庵地区、神戸市 新湊川、丹波市 白毫寺堰堤など	● 〃：36市町
			治山ダムの整備	3,988.9	川辺郡猪名川町仁頂寺、宍粟市山崎町中野、神戸市灘区篠原北町、神崎郡神河町大河など	● 〃：26市町
			法面防災対策	604.9	神戸加東線（三木市）、洲本灘賀集線（洲本市）、250号（赤穂市）など	● 〃：13市町
			ため池防災対策	108.7	イルスミ池（三木市）、西谷池（神戸市）など104箇所	● 〃：30市町
			合計	**28,480.0**		

【兵庫県】充当事業・環境改善効果①

1 下水汚泥広域処理場の整備

兵庫東流域下水汚泥広域処理場



事業概要

- 兵庫県東流域下水汚泥広域処理場（尼崎市）では、県南東部の尼崎市、西宮市、芦屋市の各公共下水処理場及び武庫川上流・下流浄化センターの汚泥処理を行っています。
- 本事業では老朽化した汚泥焼却炉の更新に加え、下水道資源の有効利用に向けて、下水汚泥からのバイオガスの生成・固形燃料化施設を整備中です。（令和9年完成予定）

環境改善効果（計画値）

CO_2排出量　約14,500t /年　の削減
（バイオガス生成量：約800万Nm^3/年、固形燃料化量：約9,900t/年）

- 汚泥焼却炉の更新及び、下水汚泥から精製したバイオガス及び汚泥を脱水し、生成された固形燃料を民間の発電事業者に売却することでCO_2排出量の削減を見込みます。

廃棄物（焼却灰）　約5,000t /年　の低減

- これまで下水汚泥は、全量焼却後に焼却灰が埋め立てられていましたが、バイオガスの生成・固形燃料化により焼却灰が低減される見込みです。



2 太陽光発電設備等の導入



太陽光発電設備



普通教室の空調室内機とLED

事業概要

- 県内4つの特別支援学校（豊岡市、加古川市、稲美町、播磨町）の整備を実施しました。
- 整備にあたっては、屋上に太陽光発電設備を導入することで再生可能エネルギーの利用を推進するとともに、LED照明や空調設備の導入によってエネルギー消費量の削減に取り組んでいます。

環境改善効果

太陽光発電設備の導入によるCO_2排出量　約4.8t /年　の削減

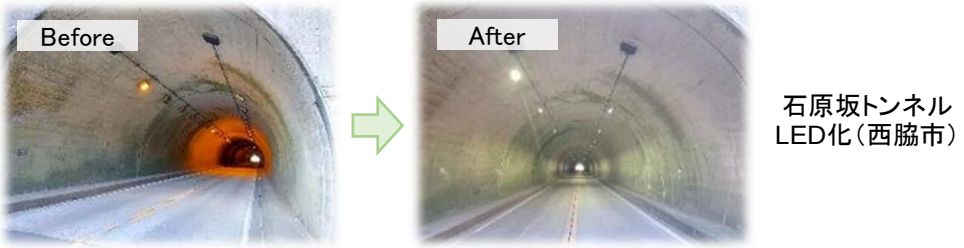
LEDの導入による消費電力の削減量　約23MWh /年

空調機器の導入による消費電力の削減量　約80MWh /年

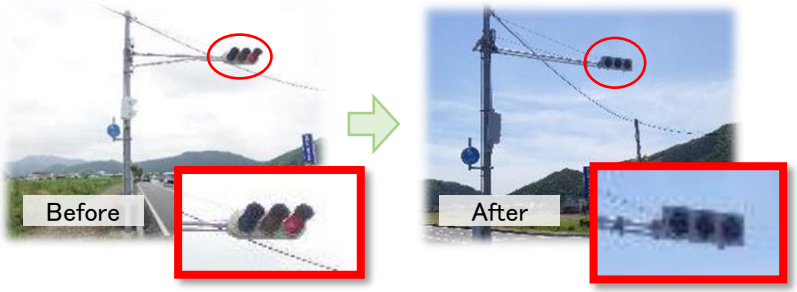


【兵庫県】充当事業・環境改善効果②

3 トンネル照明・道路情報板・信号機のLED化



石原坂トンネル
LED化（西脇市）



信号機の改良
・LED照明化
（森本交差点
（西脇市））

事業概要

- 本県では、県自らも大規模なエネルギー消費者であることから、県保有設備についての省エネルギー化を推進しており、本事業では、県有施設であるトンネル照明・道路情報版や信号機等をLED化しました。

施設	実施箇所
トンネル	石原坂トンネル（西脇市）・船坂トンネル（赤穂郡上郡）など
道路情報版	国道179号、宝塚唐櫃線など
信号機	森本交差点（西脇市）、上余部西交差点（姫路市）など

環境改善効果

消費電力の削減量　約 3,488MWh /年

- 対象となる設備の更新前後の省エネルギー性能は30%を超えており、大幅なエネルギー効率の向上に繋がっています。



4 森林整備・林道整備



森林整備（多可町）



林道整備（千ヶ峰・三国岳線）

事業概要

- 本県は、平成6（1994）年に「ひょうご豊かな森づくり憲章」を提唱し、森林を県民共有財産として保全しており、近年は「新ひょうごの森づくり・第5期対策」のもと保全から一歩進め、森の回復・再生に取組んでいます。
- 具体的には、間伐が必要な60年生以下のスギ・ヒノキの人工林の間伐実施率100%、里山林の再生を目標に森林・林道整備を行っています。

事業概要	実施箇所
土砂災害防止や温室効果ガスの吸収に資する森林整備	神河町大山城山、養父市大屋町横行中山、宍粟市一宮町公文坂ノ谷など、県内全域
森林整備に資するための林道整備	千ヶ峰・三国岳線、能栖線、須留ヶ峰線、瀞川・氷ノ山線など

環境改善効果

森林 森林整備総面積 約2,052ha,作業道整備距離 202,452m

林道 林道整備総距離 1,179m



【兵庫県】充当事業・環境改善効果③

4 県立農業大学校への有機農業アカデミーの設置



教育棟



農機格納庫



土づくり資材保管庫



実習ほ場・ビニールハウス

事業概要

- 本県は、1992年から環境に配慮した農業生産の推進を図るため、土づくりや減農薬など環境に配慮した生産方式を拡大するとともに、それらの取り組みに対する消費者への理解促進を図ってきました。
- 有機農業に興味を持つ就農希望者の増加に対応するため、県立農業大学校に「経営として成り立つ有機農業」を体系的に学ぶコースを新たに設置し、人材育成を強化を推進しています。

環境改善効果

- 教育棟、農機格納庫兼作業場、危険物保管庫、土づくり資材保管庫、実習ほ場の整備（露地ほ場約200㎡ 10区画、ビニールハウス 約250㎡ 10棟）
- 2026年4月に開講。第1期生が「経営として成り立つ有機農業」を体系的に学んでいます。



4 魚礁漁場・増殖場の整備



釜屋漁場の整備



紀伊沼島漁場（増殖場）の整備

事業概要

- 本県は、2021 年 3 月に策定した「ひょうご農林水産ビジョン 2030」におけるめざす姿として、「漁業にとって望ましい海域の栄養塩環境等のもと、漁場整備の推進や増殖場の機能回復・強化、積極的な種苗放流などの取組により、豊かで美しい海が再生していること」を掲げています。
- マダイ、スズキ、アジ等を集める魚礁の設置や、カレイ類、メバル、カサゴ等の産卵親魚の保護や稚魚の育成を図る増殖場の造成、既存増殖場の機能回復や強化を図るための調査等を進めています。

事業概要	実施箇所
魚礁漁場の整備	播磨北淡漁場、釜屋漁場、家島第3地区
増殖場の整備	家島南漁場、三尾、五色、紀伊沼島漁場、洲本漁場

環境改善効果

魚礁漁場 漁場造成面積：6.64ha、 魚礁の整備量：4,797.5空m3

増殖場 増殖場造成面積：5.21ha

増大が期待される魚介類：マダイ、スズキ、アジ 等



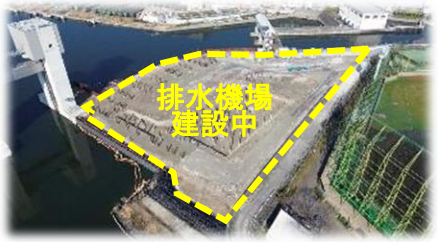
【兵庫県】充当事業・環境改善効果④

5 河川整備等治水対策



草谷川（加古川市）
堆積土砂撤去





新川・東川統合排水機場（西宮市）

事業概要



- 本県は、多発する局所的大雨を踏まえ、従前の雨水を“流す”対策に加え、一時的に“貯める”・浸水被害を軽減する“備える”対策も含めた総合治水対策（右図）を推進しています。
- 平成24（2012）年4月には、都道府県で初の総合治水条例を策定し、条例に基づいて地域総合治水推進計画を策定しました。
- 本事業では、地域総合治水推進計画に加え、ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画・高潮対策10箇年計画に基づく河川改修を行っています。

事業概要	実施箇所
河川整備等治水対策	草谷川、明石川、津門川、武庫川、黒井川、竹田川、新川・東川排水機場など

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を **41市町** で防止



5 治山ダムの整備、砂防施設の改良等



砂防施設の整備
（美方郡香美町香住区隼人）



事業概要

- 本県は、平成21年台風第9号などを教訓に、山地防災・土砂災害対策計画を策定し、足許では第4次計画（2021-2025年）として、砂防堰堤等の整備による自然災害に備える強靭な県土構築を推進しています。
- 本事業では、山地防災・土砂災害対策計画を中心とした治山・砂防事業を対象に、県土の強靭化を推進しています。

事業概要	実施箇所
治山ダムの整備	川辺郡猪名川町仁頂寺、宍粟市山崎町中野、神戸市灘区篠原北町、神崎郡神河町大河など
砂防施設の改良等	美方郡香美町香住区隼人、神河町 大山上谷川、佐用町 下庵地区、神戸市 新湊川、丹波市 白毫寺堰堤など

環境改善効果

砂防 台風・豪雨等大規模災害時における土砂災害を **36市町** で防止

治山 台風・豪雨等大規模災害時における土砂災害を **26市町** で防止



【兵庫県】充当事業・環境改善効果⑤

5 法面防災対策



洲本灘賀集線
（洲本市）

事業概要

- 本県は、豪雨による落石や法面崩壊等の増加を踏まえ、平成31年（2019）年3月に「ひょうご道路防災推進10箇年計画」を策定し、災害に強い安全な道路ネットワークの構築を進めています。
- 本事業では、計画に基づき、緊急輸送道路や被災した場合に社会的に影響が大きい箇所において、落石防護柵・ネットの整備といった法面防災対策を実施しています。

事業概要	実施箇所
法面防災対策	神戸加東線（三木市）、洲本灘賀集線（洲本市）、国道250号（赤穂市）など

環境改善効果

法面 台風・豪雨等大規模災害時における土砂災害を **13市町** で防止



5 ため池防災対策



イルスミ池改修（三木市）



ため池廃止（佐用町）

事業概要

- 本県には、降水量の少ない県南部を中心に、約22,000の農業用ため池が存在しており、多くが経年劣化による漏水や変形など、豪雨時のリスクが高まっています。
- 本事業では、ため池のうち、決壊により人命・財産に被害を及ぼすリスクの高いものを優先し、改修等の整備をしています。
- また、本県では「ため池の保全等に関する条例」に基づき、ため池等の適正な管理と多面的機能の発揮の促進に向けた取組を県民一人ひとりがそれぞれの立場で実践していくことを「ひょうごため池保全県民運動」として展開しています。

事業概要	実施箇所
ため池防災対策	イルスミ池（三木市）、西谷池（神戸市）など104箇所

環境改善効果

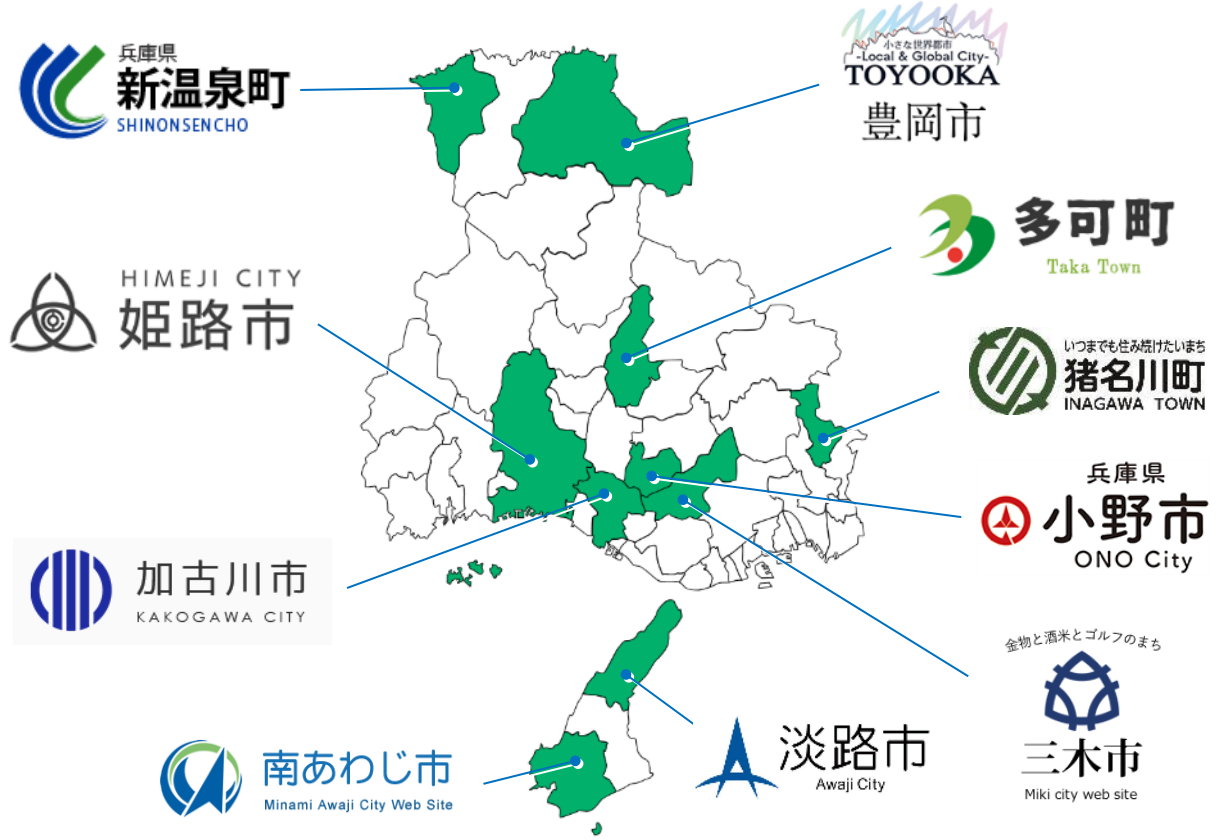
ため池 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を **30市町** で防止



令和７年度 ひょうごグリーン県民債の持寄額（県市町別）

県市町別の持寄額（千円）	
兵庫県発行分	1,480,000
市町発行分	**520,000**
姫路市	**200,000**
豊岡市	**50,000**
加古川市	**50,000**
三木市	**30,000**
小野市	**30,000**
南あわじ市	**20,000**
淡路市	**50,000**
猪名川町	**40,000**
多可町	**30,000**
新温泉町	**20,000**
合計	2,000,000

令和7年度 「ひょうごグリーン県民債」は、兵庫県と下記10市町の共同により発行しました



CLICK!

ひょうごグリーン県民債で調達した資金の充当事業及び環境改善効果につきましては、各市町のロゴをクリックすることでご確認いただけます。

令和７年度 ひょうごグリーン県民債（市町発行分）の充当事業及び環境改善効果

- 令和7年度にひょうごグリーン県民債で調達した資金5.2億円（市町発行分）については、年度内に兵庫県・兵庫県市町共同（県民債）グリーンボンド・フレームワークに定める以下の適格事業に10市町が全額を充当しました。

グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	充当団体	環境改善効果 / 整備箇所数 など
汚染防止及び抑制 エネルギー効率		高効率なごみ処理施設の整備	30,000	多可町	年間のCO_2排出削減量：約340.5t 年間の消費電力削減量：1,071MWh
エネルギー効率		市町施設の照明のLED化	235,500	姫路市、加古川市、三木市	LED灯数：13,641灯 年間の消費電力削減量：約1,033MWh
生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理		ヒートアイランド対策及び緑地保全を目的とした緑地整備	8,000	姫路市	5箇所
クリーン輸送		公用車における電気自動車等の導入	6,500	姫路市	プラグインハイブリッド車の導入台数：1台 年間のCO_2排出削減量：約9t
気候変動への適応		河川整備等治水対策	240,000	姫路市、豊岡市、小野市、南あわじ市、淡路市、猪名川町、新温泉町	19箇所
		ため池防災対策			26箇所（設計含む）
		治山対策			2箇所
		気候変動に伴う熱中症リスク対策			7校
合計			**520,000**	**10市町**	

【姫路市】充当事業及び環境改善効果①

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目 実施箇所（箇所名・箇所数等）	レポーティング項目 環境改善効果
1	エネルギー効率		市有施設の照明のLED化	155,500	市役所本館・東館・南別館の照明、シロトピア記念公園照明灯のLED化 LEDの導入灯数：5,555灯	● LEDの導入による年間の消費電力削減量：約257.8MWh
2	生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理		ヒートアイランド対策及び緑地保全を目的とした緑地整備	8,000	街路樹、公園など公共施設等の緑化	● 天満公園など5箇所で、ヒートアイランド対策及び緑地保全
3	クリーン輸送		公用車における電気自動車等の導入	6,500	プラグインハイブリッド車1台の導入	● 年間のCO_2排出削減量：約9.5t
4	気候変動への適応		河川整備等治水対策	20,000	都市排水対策事業対象水路（8箇所）の改修	● 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害・土砂災害を防止
			ため池防災対策	10,000	【改修工事】相合池、大谷池、別所横池、古法華池、栗岡池、竹太郎上池、書写地区、阿成地区、甲山頭首工、西光寺野Ⅲ期地区、加古川西部地区 【区画整理工事】須加院地区、太市西部地区、宮置地区	
合計				200,000		

1 市有施設の照明のLED化

事業概要

- 市有施設の照明のLED化に取り組み、消費電力削減を図ります。
- 令和7年度は計5,555灯のLEDを導入し、消費電力を削減しています。

環境改善効果

消費電力の削減量　約257.8MWh /年

- 対象となる設備の更新前後の省エネルギー性能は30%を超えており、大幅なエネルギー効率の向上に繋がっています。



本庁舎の照明のLED化



シロトピア記念公園
照明のLED化

【姫路市】充当事業及び環境改善効果②

2 緑地保全を目的とした緑地整備

事業概要

- 公共施設緑化の促進等により、都市緑化を推進します。

環境改善効果

ヒートアイランド対策及び緑地保全　天満公園など5箇所



天満公園の整備
（姫路市大津区）

3 公用車における電気自動車等の導入

事業概要

- 公共施設での充電設備の確保状況や公用車の利用用途等を勘案した上で、導入可能な車種に限り、新規導入・更新する車両については次世代自動車の導入割合 100%を目指します。
- 令和7年度はプラグインハイブリッド車を1台導入しました。

環境改善効果

CO_2排出量
約9.5t /年　の削減

- プラグインハイブリッド車の導入により、CO_2排出量を削減しています。



公用車（プラグインハイブリッド車）

4 河川整備等治水対策、ため池防災対策

事業概要

- 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を防止するために、水路・ため池等の改修工事を実施しました。

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を防止



津市場西川の改修



大谷池の改修

【豊岡市】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	気候変動への適応		気候変動に伴う熱中症リスク対策	50,000	豊岡小学校、八条小学校、三江小学校、 五荘小学校、日高小学校	● 施設利用者の熱中症リスクの低減
合計				50,000		

1 気候変動に伴う熱中症リスク対策

事業概要

- 気候変動により体育館の建設当初より夏場の気温が高い状況が続く中、熱中症等のリスクを避け、誰もが安全・安心に体育施設を利用できるよう、空調設備の整備を進めています。
- 令和7年度は指定避難所となっている、豊岡小学校、八条小学校、三江小学校、五荘小学校、日高小学校に新規導入しました。



豊岡小学校

環境改善効果

施設利用者の**熱中症リスク低減**



五荘小学校



日高小学校

【加古川市】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	エネルギー効率		市有施設の照明のLED化	50,000	加古川市役所（新館及び議場棟） LEDの導入灯数：4,686灯	● LEDの導入による年間の消費電力削減量：約425MWh
合計				**50,000**		

1 市有施設の照明のLED化

事業概要

- 「加古川市公共施設等脱炭素化方針」により、公共施設等の新設や大規模改修を行う際には、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化をはじめとした、LED照明や高効率空調設備等の省エネルギー設備を導入し、積極的に省エネルギー化を進めることとしています。
- 特に照明については、蛍光灯の製造が令和9（2027）年までに終了するため、令和12（2030）年度までに100%LED化を進めるとともに、全ての水銀灯を廃止します。
- 令和7年度は加古川市役所の新館及び議場棟において4,686灯をLED化し、消費電力を削減しています。



新館エレベーターホールのLED化



新館会議室のLED化



新館議場棟のLED化

環境改善効果

消費電力の削減量　約425MWh／年

- 対象となる設備の更新前後の省エネルギー性能は30%を超えており、大幅なエネルギー効率の向上に繋がっています。

【三木市】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	エネルギー効率		市有施設の照明のLED化	30,000	指定避難所（10箇所）のLED化 LEDの導入灯数：約3,400灯	● LEDの導入による年間の消費電力削減量：約350MWh
合計				30,000		

1 市有施設の照明のLED化

事業概要

- 市有施設の照明のLED化に取り組み、消費電力削減を図ります。
- 令和7年度は細川町公民館やハートフルプラザみき等の指定避難所（10箇所）において約3,400灯をLED化し、消費電力を削減しています。



細川町公民館・大会議室

環境改善効果

消費電力の削減量　約350MWh／年

- 対象となる設備の更新前後の省エネルギー性能は30%を超えており、大幅なエネルギー効率の向上に繋がっています。



ハートフルプラザみき・大講義室

【小野市】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	気候変動への適応		気候変動に伴う熱中症リスク対策	30,000	小野中学校、小野南中学校	● 施設利用者の熱中症リスクの低減
合計				30,000		

1 気候変動に伴う熱中症リスク対策

事業概要

- 気候変動により体育館の建設当初より夏場の気温が高い状況が続く中、熱中症等のリスクを避け、誰もが安全・安心に体育施設を利用できるよう、空調設備の整備を進めています。
- 令和7年度は小野中学校と小野南中学校に、それぞれ7基と6基の空調設備を新規導入しました。



小野中学校
体育館空調の新設

環境改善効果

施設利用者の**熱中症リスク低減**

小野南中学校
体育館空調の新設



【南あわじ市】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連するSDGs	事業	充当額（千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	気候変動への適応		河川整備等治水対策	20,000	碇ヶ内川（松帆江尻地区）、津井川支川（津井地区）、稲田川（北阿万伊賀野地区）	● 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を防止
合計				20,000		

1 河川整備等治水対策

事業概要

- 災害時に護岸崩壊が発生すれば、地域住民に多大な被害を及ぼす危険性が高いことから、治水対策を目的とした河川改修事業を実施しました。
- 令和7年度は碇ヶ内川（松帆江尻地区）、津井川支川（津井地区）、稲田川（北阿万伊賀野地区）の改修を行いました。

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における**浸水被害を防止**



稲田川護岸の改修



【淡路市】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目 実施箇所（箇所名・箇所数等）	レポーティング項目 環境改善効果
1	気候変動への適応		河川整備等治水対策	10,000	今出川	● 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を防止
			ため池防災対策	40,000	入管新池、地蔵池など7箇所	
合計				50,000		

1 河川整備等治水対策

事業概要

- 淡路市では、治水対策を目的とした河川改修を実施しています。
- 令和7年度は今出川の改修を実施しました。

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における**浸水被害を防止**



今出川の改修



1 ため池防災対策

事業概要

- 災害によりため池が決壊すれば、農家だけでなく、地域住民に多大な被害が生じることになることから、市内のため池改修を順次進めています。
- 令和7年度は入管新池、地蔵池などの7箇所を改修しました。

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における**浸水被害を防止**





入管新池の整備

【猪名川町】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	気候変動への適応		河川整備等治水対策	29,700	小川（南田原地区）、柏原川・北の谷川（島地区）、鎌倉川（鎌倉地区）、下北谷川（清水地区）	● 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害を防止
			ため池防災対策	10,300	百枚池（柏梨田地区）、東池（笹尾地区）、上野上池（上野地区）、室池（下阿古谷地区）	
合計				40,000		

1 河川整備等治水対策

事業概要

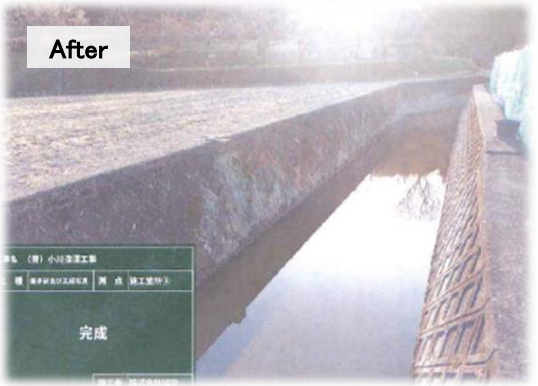
- 昨今の相次ぐ河川氾濫を踏まえ、町が管理する河川における浸水被害の防止を目的に、危険箇所における土砂の撤去等の対策を実施しました。
- 令和7年度は小川（南田原地区）、柏原川・北の谷川（島地区）、鎌倉川（鎌倉地区）の改修を行いました。



小川（南田原地区）
の改修

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における**浸水被害を防止**



【多可町】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連する SDGs	事業	充当額 （千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	汚染防止及び抑制 エネルギー効率		高効率なごみ処理施設の整備	30,000	1箇所（令和8年度から供用開始予定）	● 年間のCO_2排出低減量：約340.5t ● 年間の消費電力低減量：約1,071MWh
合計				30,000		

1 高効率なごみ処理施設の整備

事業概要

- 現在、西脇市にあるごみ処理場を経年劣化に伴い、多可町へ移転します。その際、環境衛生面に配慮し、循環型社会の形成に寄与する施設を建設します(令和8年度から供用開始予定)。



西脇多可行政事務組合　新ごみ処理施設

環境改善効果

CO_2排出量　約340.5t /年　の削減

- 効果的な環境保全・公害防止対策を講じ、温室効果ガスの抑制、周辺地域への環境負荷の低減等を図る施設とします。

消費電力の削減量　約1,071MWh /年

- 対象となる設備の更新前後の省エネルギー性能は30%を超えており、大幅なエネルギー効率の向上に繋がっています。



プラットフォーム



焼却炉

【新温泉町】充当事業及び環境改善効果

	グリーンボンド原則 事業区分	関連するSDGs	事業	充当額（千円）	レポーティング項目	
					実施箇所（箇所名・箇所数等）	環境改善効果
1	気候変動への適応		河川整備等治水対策	10,000	段川、ツヅライ川	● 台風・豪雨等大規模災害時における浸水被害・土砂災害を防止
			ため池防災対策	5,000	切畑地区	
			治山対策	5,000	春来地区、海上地区	
合計				20,000		

1 河川整備等治水対策

事業概要

- 災害時に護岸崩壊が発生すると、隣接する道路や農地、近接する民家等に甚大な被害を及ぼす危険が高いことから、治水対策を目的とした河川改修事業を進めています。
- 令和7年度は段川、ツヅライ川の河川改良工事を実施しました。

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における**浸水被害を防止**



ツヅライ川の改良

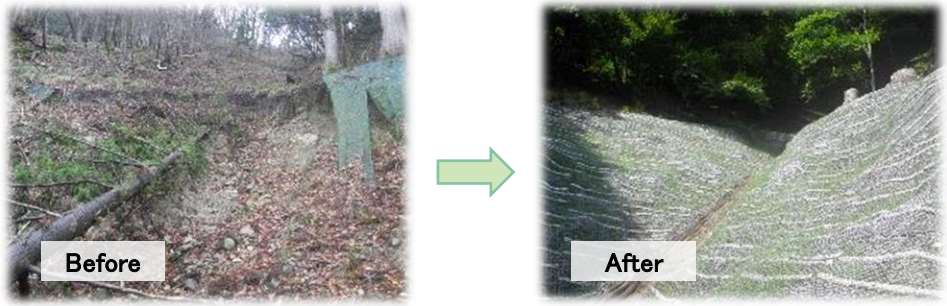
1 治山対策

事業概要

- 斜面下部には農地及び県道が近接しており斜面崩壊が発生すると、甚大な被害を及ぼす可能性があることから、斜面の安定を図り斜面崩壊の危険を回避するために、法面工を実施しました。
- 令和7年度は春来地区、海上地区の治山工事を実施しました。

環境改善効果

台風・豪雨等大規模災害時における**斜面崩壊を防止**



春来地区の治山工事